

事業名	自然公園美化推進事業費	財務コード (事業)	435101
-----	-------------	---------------	--------

細事業名	富士の国やまなし山岳観光地美化活動事業費補助金
------	-------------------------

担当部課室	観光 部 観光資源 課 資源管理 担当 (内線)	4303
-------	--------------------------	------

## I 事業の概要

実施期間	始期 H18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(南アルプス・秩父多摩甲斐美化推進協議会・八ヶ岳観光協会)		
事業の目的	誰(何)を対象に 南アルプス、八ヶ岳、秩父多摩甲斐国立公園の3地域	その対象をどのような状態にして 美しい自然環境が保持されている。	結果、何に結びつけるのか 地域資源を活かした観光の振興
	<p>事業の内容 ※主に 23年度</p> <p>○事業概要:山岳観光地の美化清掃を実施する団体等に対して予算の範囲内で補助金を交付する。 ○補助先:南アルプス美化推進協議会、秩父多摩甲斐美化推進協議会、八ヶ岳南麓美化推進協議会 ○補助率:1団体100万円を限度に、補助対象経費の1/2以内 ○補助対象経費:山岳観光地美化清掃に要する経費</p>		
根拠法令等	富士の国やまなし山岳観光地美化活動事業費補助金交付要綱		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 参加団体	3	3	3	3	3	活動指標 目標設定の考え方 毎年度3団体に補助することにして いる。 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	100.0 %				
成果指標 山梨県観光入込客 統計調査におい て、自然景観にお いて満足と回答した 割合	89.4%	89%	91.0%	89%	89%	成果指標 目標設定の考え方 H22年度の満足度は89%であり、満足度は高 い。この高い満足度を毎年維持するため、目標 値は89%以上を維持することとする。 データの出典等 山梨県観光入込客統計調査
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	102.2 %				
決算額、予算額	1,056	1,056		1,056	950	成果指標によらない成果
(千円) うち一財額	1,056	1,056		1,056	950	
所要時間(直接分)	40 時間	40 時間		40 時間	40 時間	
所要時間(間接分)	時間	時間		時間	時間	
所要時間計	40 時間	40 時間		40 時間	40 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	81	81		81	81	

## III これまでの事業の見直し・改善状況

--

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
b	b	目標値89%に対し、実績値91%であり、達成率102.2%であった。よって、美化清掃活動を実施し、美しい自然環境を保持することにより、国立公園を訪れる観光客の満足度が向上していると判断でき、意図した成果を達成している。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

##### 一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
有	事業の効果を維持しながら、経費配分を見直し、経費について削減につなげる。	i

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費削減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

##### 二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法の変更等	事業効果を保ちながら、消耗品費や食料費など、事業費全体を見直し縮減を図り、補助金額の変更により、経費を削減し950千円とする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。